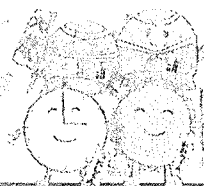


心と得天真

～心として天真を得る



山口市立大歳小学校
学校だより
令和7年7月

夏到来！プールからの歓声響く！

6月27日、山口県では梅雨明けが発表されました。これは、統計開始以来もっとも早い梅雨明けだそうです。例年よりも早い「夏到来！」となりましたが、一方で、最高気温が35度に達する猛暑日がしばらく続くとも予想されており、暑さへの備えが必要です。

そんな中、学校では6月から水泳学習が始まっています。夏の学校の風物詩といえば、やはり「プール」。子どもたちの元気な歓声や先生の笛の音が、プールから校長室にまで届いてきます。目を輝かせながら元気いっぱい水の中で活動する子どもたち。その水しぶきの中には、挑戦する勇気や友達と励まし合う姿があり、見ていてとてもうれしくなります。プールサイドには、真剣な表情、笑顔、悔しさ、達成感……子どもたちの「今」がぎゅっと詰まっています。一人ひとりの頑張りを、私たち教職員もそばで見守り、支えています。まさに、夏ならではの大切な学びの時間です。



さて、夏といえば「スポーツの季節」でもあります。これからの7月・8月には、夏の高校野球・甲子園が開催され、そして9月には、世界陸上が34年ぶりに東京で開催されます。

こうしたスポーツの大会を見ていると、私は思わず興奮し、大声で応援したり、手をたたいて喜んだり、時には涙ぐんでしまったりします。

なぜ人は、家族でも知り合いでもない選手たちをテレビ越しに見て、喜んだり涙を流したりするのでしょうか。

それは、人が他の動物にはない「共感」や「感動」というものを感じる力をもっているからだといわれています。自分の限界に挑戦する姿、限界を超えるために努力を重ねる姿、仲間と支え合いながら戦う姿……そうした姿に、私たちは心を動かされ、勇気をもっているのだと思います。

いよいよ「スポーツの夏」です。

子どもたちにも、思いきり体を動かす経験はもちろん、テレビ越しや現地でスポーツを見て、「共感」や「感動」をたくさん味わってほしいと願っています。その経験が、きっと人としての豊かな心を育ててくれるはずです。

1学期も残りわずかとなりました。夏の陽ざしのように、子どもたちのまっすぐなエネルギーがまぶしく感じられる毎日です。熱中症には気をつけながら、大歳っ子も大人も、この夏を「感動の夏」にしていきましょう！